



コロナ危機と時間学



～新型コロナウイルス感染症と私たちの過去・現在・未来～

山口大学研究プロジェクト「コロナ危機と時間学」では分野間交流を通して議論を行い、そこで得られた知見や意見を自身の研究に還元することで研究の促進や新しい展開がされることを期待しています。そこで、積極的に交流を図るためワークショップを実施しています。いよいよ最後のワークショップとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

第3回 ワークショップ

日時:2023年9月19日(火)13時00分~16時00分
会場:山口大学吉田キャンパス大学会館会議室
対象者:山口大学学内者および本プロジェクト共同研究者
事前申込:不要

プログラム

| 時間 | 氏名 | 所属 | 研究課題名 |
|-------------|--------|---------|---|
| 13:00-14:00 | 川崎 勝 | 国際総合科学部 | 過去(スペイン風邪)と現在(COVID-19)のパンデミック対応の比較から見る社会の変貌 |
| 14:00-15:00 | 藤原 まみ | 国際総合科学部 | 感染症と文学の「過去」「現在」そして「未来」 —時間の加速と膠着が交錯する場における、群衆・異文化表象研究— |
| 15:00-16:00 | 上田 真寿美 | 国際総合科学部 | コロナ状況下で失った山口大学生の身体活動量を取り戻す -コロナ前~現在(2019-2022年)の歩数の実態調査- |

コロナ危機と時間学 HP



http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp/?page_id=3042

問合せ先
山口大学時間学研究所 事務室
Mail:sh076@yamaguchi-u.ac.jp
Tel:083-933-5848